

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
4（2）	高澤 昌利 木村美保子 橋口まりこ 小山 淳	高等学校古典探究古文編（第一学習社） 完全マスター古典文法（第一学習社） 常用国語便覧（浜島書店）
必履修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		ほか

◆学習の目標

古典の文章について、読解・鑑賞の方法を修得し、言語感覚を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。

「古文」…基本的な文法事項に対する理解と基礎的な語彙力を身に付けることによって、作品の全体的な理解を可能にする。

◆主な学習内容・方法

- （1）古語の意味・用法を語源から掘り下げて理解する。
- （2）文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。
- （3）助動詞や助詞・敬語法の理解を深め、表現に即してそのもつ意味を理解する。
- （4）文学史の上でそれぞれの作品のもつ意義を理解する。
- （5）受験問題を実際に解き、解法を学ぶ。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

- ・古文を理解するための語彙力を充実させることができる。
- ・文章の中で助動詞や助詞・敬語法・漢文句法を正確に理解することができる。

○思考・判断・表現

- ・複雑な文章の文脈を正しく把握することができる。
- ・文学史の流れを理解することができる。
- ・初見の文章でも、一定の時間の中で大意を理解し、問題に対処することができる。
- ・時代背景を考えながら、登場人物の心情を理解し、心情を文章にすることができる。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・授業前に予習をし、授業に臨むことができる。
- ・授業内の話し合い、学び合いで積極的に取り組むことができる。
- ・小テストや確認テストで既習内容について確認する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1学期（ 26 時間）	2学期（ 28 時間）	3学期（ 16 時間）
------	-------	-------------	-------------	-------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

・教科書の本文をノートに写し、分からない語句、句法などを前もって調べておくこと。参考書や教科書ガイドを丸写しにするのではなく、自分自身で調べるという作業が大切である。基本的な語句に関しては、その意味や用法を暗記すること。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	徒然草	4	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。 平安女流文学への関心をもたせる。 平安女流日記が人生の回想記であることを理解する。 物語の世界に親しみ、登場人物の心情を読み取る。 大学入試問題の演習を適宜行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 徒然草の文学史的基礎知識を理解できる。 清少納言の感性を理解できる。 古典文法（用言・助動詞・助詞・敬語法）が理解できる。 語彙を理解することができる。 選択肢問題と記述問題の演習を行い理解できる。
	5	枕草子	8		
		紫式部日記	4		
		源氏物語	6		
	7	大学入試問題演習	4		
2 学期	8	源氏物語	10	<ul style="list-style-type: none"> 平安時代の物語の登場人物の心情を読み取る。 平安時代の和歌に対する考え方に触れる。 展開に即して、内容を正確に読み取る。 評論に述べられた古人のものの見方、感じ方、考え方の特色を理解する。 近世の文章を読み、人間の心情のありようについて考える。 大学入試問題の演習と解説を適宜行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 文法語句の意味を正確に捉え文章全体を把握できる。 古語の語彙を理解できる。 登場人物の心情を文脈に即して理解し、表現できる。 古典文法（用言・助動詞・助詞・敬語法）を理解できる。 選択肢問題と記述問題の演習を行い理解できる。
	9	古今和歌集仮名序	4		
	10	無名抄	4		
		芭蕉	4		
	11	去来抄	2		
	12	大学入試問題演習	4		
3 学期	1	共通テスト演習	8	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試問題の演習と解説 	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢問題と記述問題の演習を通して積極的に問題を解く態度を身につけ、記述問題を通して、自分の考えを的確に述べることができる。
	2	入試問題演習	8		
	3				